

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

市民＋野党共闘で1人区10人当選 改憲勢力3分の2割り込む 日本共産党前回当選6→7へ



中林よし子統一候補

今回「鳥取・島根 合区」の選挙区選挙において、野党統一・無所属候補として闘った私に、党派を超えた御支援をいただき心から感謝を申し上げます。

明日を見つめて 野党統一・無所属候補として闘って

私にとって10年のプランクを経ての日本共産党候補としての活動に、当初戸惑いはありました。しかし、皆さんの温かい激励に「何としても、安倍政権を追い詰めなければ」の一念で歩き続けてきました。日本共産党候補から野党統一候補と決まり、無所属立候補としての決断も、私にとっては初めての経験でした。各野党の方々の困難を乗り越えた支援の広がり、自民党支持者の方が、宣伝物を事務所に



野党統一中林よし子候補大健闘

後、尾村利成は、全国32の1人区すべてで野党統一候補から10議席に前進したことは、改憲勢力に大きな痛手となったことを強調。中林よし子候補は当選に至らなかったが大健闘したことを報告しました。橋本氏は、今回の選挙で自民党は憲法9条に自衛隊を位置づけることを初めて正式に公約に掲げましたが、結果は改憲勢力の3分の2を阻んだ大きな成果であったことを強調しました。吉儀市議は、年金問題が大きな争点となり、日本共

野党統一 中林よし子候補大健闘 党県議・市議団 今後の展望訴え

参議院選挙投票日の翌日である7月22日、尾村利成島根県議会議員と橋・吉儀・田中の松江市議団が、袖師町共産党事務所前にて、参議院選挙結果をふまえ、今

産党が減らない年金にするために対案を示して年金財政を増やす提案をしている

「国民平和大行進」松江入り 県庁、松江市役所を訪問



ペナント託される山田太枝さん

産党が減らない年金にするために対案を示して年金財政を増やす提案をしている

最後に田中市議は、原発は動かさないとという政策は、引き続き野党と市民との共通政策として今後も力を合わせることを力強く訴えました。

水爆禁止国民平和大行進（富山―広島コース）の通し行進者の山田太枝さん（74歳）らが22日、市役所を訪れ、松浦正敬市長、森脇幸好市議会議長名のペナントが託されました（写真）。山田さんは、「イラクでのボランティアの際、劣化ウラン弾被害の大きさを実感した。歩くことで、核兵器廃絶の思いを抜けている。

平和行進、プラバ前で 集会後、市内を行進

プラバ前での市内平和行進出発式で、通し行進者の山田太枝さんは、「全国を行進を高年齢者が支えている。

今日は若い世代の参加が多く、とても感激している。核兵器禁止条約が発効するように頑張りますように。」と訴えました。



プラバ前を行く平和行進

その後、参加者は、「禁止条約、いいね！NON MORE ヒバクシャ！」とピースコールを響かせながら、県民会館まで行進（写真）。核兵器のない世界の実現を呼びかけました。行進団の元気なピースコールに手を振る市民の姿もありました。

2019年8月1日

中林よし子